

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1 (1)	当施設の基本理念に対する職員の理解が形式的なものに止まり、日々の介護ケアに活かされていない部分がある。理念を真に実践するために、職員全員が考え、具体的な行動に移していくことが課題である。	当施設の基本理念を実践するために、取るべき具体的な行動を職員全員が考え、話し合いの中からその方策を示し、全体としての知識や技術を向上させ、利用者本位の介護ケアに繋げていく。	全職員の考え・意見の中から、取るべき具体的な行動・対応をスローガンに掲げ、日々のケアに取り組んでいく。また、それを自己評価をしながら定期的に見直していく。	12ヶ月
2	25	身体機能が低下し、足元が不安定で転倒の危険性のある入居者様が多い。	生活リハビリや散歩、体操などに取り組み、筋力低下予防に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の家事(掃除、リネン交換、調理、食事の準備、洗濯物たたみ等)による生活リハビリを実施する。 ・毎日、次の①又は②の運動を継続し筋力低下防止に取り組む <ul style="list-style-type: none"> ①片道50～100mまでの散歩・歩行 ②ラジオ体操(基礎体操) 	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。